



ウイラレポート 2011 年 8 月号

「 M2M 通信の動向 」

はじめに

M2M 通信 (Machine-to-Machine 通信) は機械と機械の通信を指すが、移動体通信の分野では携帯電話がほぼ一人一台普及した現在、次のサービスとして大きな注目を集めている。特に電力有効利用のためのスマートグリッドの検討、そのために重要なツールとしてのスマートメータの実用化が大きなきっかけとなっている。M2M 通信は別に新しい話ではなく USB モデムや無線ルータを使った通信は基本的に機械間の通信であるが、現在注目されているのはこのようなパソコンとサーバの通信というよりは Embedded Wireless Module と呼ばれる、機器に埋め込まれたある程度絞り込んだ専用機能を実現する無線機の活用である。

M2M のもう一つの側面はセンサネットワークと呼ばれる領域でセンサ同士が互いに通信してネットワークを構築するものである。

今月はこれらの分野の動向について分析する。